



申20号 2020年度夏季手当等に関する申し入れ 第2回交渉を行う! ③

変革2027を踏まえた施策に関して

【運車】収入が厳しい事は現場の社員は認識している。コロナが収束していけば委員会などもはじまる。4月から新たなジョブローテーションが始まり、新しい職場に異動している。感染防止に努めつつ、会社の進める施策を担っている。そのなかでモチベーション向上に繋げるために前向きな回答が必要だ。

【会社】施策を担ったことに対する評価はしっかり行う。営業利益は対前年25%減であるのは事実。社員が努力しても収入に結びつかない現実もある。しかし、不安の中やってきたことは夏季手当の中で考えていかなければいけない。社員の成長も・会社の成長も止めないできたみなさんの努力が現れている。

経営を支える社員の努力について

【組合】持ち家の推奨もあり、期末手当を見越して住宅ローンを組んでいる組合員も多くいる。コロナ禍で収入減少や休校による食費や光熱水費の増もある。

【会社】住宅ローンや扶養家族の有無など様々あるだろう。業績は説明したとおりだが、収入が落ちた以上に尽力いただいている。そのようなところも勘案して検討していきたい。

突出感について

【会社】公共性の高い企業であることをわすれてはならないということ。当社がおかれている現状をいろいろな方向から見ていかなければならないということ。

新型コロナウイルス感染症対応に対する特別手当について

【組合】新型コロナウイルスという未知の状況の中で命がけで働いている。その中で、今般のような状況での業務に該当する手当がない。しっかり光を当てていく必要がある。疾病に対する防疫という視点から考えるべきだ。鉄道は簡単に運行本数を減らすことが出来ない特殊な事業である。働きか方の根幹に関わるものとして議論していきたい。

【会社】他社では手当など取り組んでいることは承知している。要求について否定するものではないが、業績、足元の状況を見ないといけない。総合的に判断していくことになる。

◆交渉における会社回答の特徴点

- ・期末手当は期間内の業績の反映である。営業利益は対前年25%落ちている
- ・社員が努力しても収入に結びつかないこともある。しかし、不安な中で尽力いただいていることは要素として考えなければいけない
- ・生活面などプライベートや在宅勤務の要素も勘案して検討したい
- ・将来に期待する要素も含めなくてはいけない
- ・会社の発展へ尽力している事は踏まえて慎重に判断していく。回答指定日もあるので鋭意努力し、早期に回答出来るようにしたい

要求満額獲得に向けて職場議論をつくりだそう!